



小林なみ様（99才）白寿の祝い

せはあ

藤枝市中ノ合26-1

医療法人社団 ^{しまかい}八洲会
誠和藤枝病院

<054>638-3111(代)

診療時間

月～金

午前9:00～午後5:00

土

午前9:00～午前12:00

お年よりの幸せな老後のために

院長 浅川 建史

私の郷里の八十三歳と七十六歳の両親は戦中戦後を一公務員として、数々の転勤を重ねましたが、現在は先祖のお墓のそばに居を構え、悠悠自適の生活を送っています。父は短歌、母は俳句の同人誌に属し、いい歌や句ができることと幸せな気分になり、命の充実を感じるといいます。人との交わりにも積極的で歌会などには足繁く通い、母親はなんと社交ダンスの会などにも顔を出すそうです。彼らには人生最後の日までこの普通の気ままな生活が続く事しか想像できません。少々の不自由や危険があっても、結婚以来五十数年間使いなれた桜の木の水屋（食器棚）や桐箆笥、座りなれた机等と別れを告げ、老人ホームや病院のベッドに横たわる自分を想像できないといえます。わが子の幸せを望まない親がないのと同様、この両親のささやかで自然な気持ちをおろそかにできる子供がいるわけがありません。

しかし、在宅介護の問題は、誰が死にいたるまでの看護介護を担当するかなのです。戦後、核家族化や、転勤の多い雇用者世帯の増加で、単身もしくは老人だけの世帯は四割に増えました。残り過半数の同居世帯も家族構

成は大きく変わり三世代同居は減り、未婚の子供との同居や共に老いてしまった老老親子世帯が増加し、当然のことながら致命的に介護力は弱くなりました。弱い介護力に加え、「親の呆け」に対する子供の情緒的な軋轢がからんで、老人の周りには想像を絶するさまざまな悲劇的な危機がもたらされているのです。平成十年八月に公表された『高齢者処遇研究会』の調査データによると、世話の放棄、経済的、身体心理的な「老人虐待」の問題は、ごく普通の家庭に起こりうるだけに、深刻で根深いものがあります。さすがにホームヘルパーや訪問看護婦などの外部労働力に頼る事を子供にとって恥じとする考え方は変わりつつあり、西暦二千年から始まる介護保険はその経済的基盤となりますが、先の見えない不況の世の中、生産力のない老人の世話をする制度設備にもおのずと限界があるでしょう。それに加えた大きな問題として、「長男の嫁」に介護負担が集中する大家族時代からの社会風潮には根強いものがあり、一方「親の面倒を見る」という思い入れから浮かぶ、一時のステレオタイプな情緒的とらえ方も事態をますます混乱させ、解決を遠ざけているように感じられます。

当誠和藤枝病院は今年四月療養型ベッドを増床し、八月からは在宅介護支援の為にデイケアサービスも開始しました。私達は、自分の両親の幸せを望むように、近隣のお年よりの幸せな老後のお手伝いをしたいと思っています。その為に行き届いた医療や、介護サービスをお年よりの方々に提供する事はもちろんですが、それに加えて、ご家族の方々やお年より本人の側に立った話し合い、さらにお身内同士の一段質の高い意識の持ち方が必要に思われるのです。

努力

看護部長 宮 則子



病院目標のなかに、「地域医療に貢献して愛される病院を目指す」とあります。この目標が真に成就された時はどんなにすばらしいことかと憧憬を抱いて仲間入りさせて戴き、一五〇余日が過ぎました。目標に共鳴と憧憬を抱いたからには、それに向かって一歩一歩間違いのない歩みを進める役割と看護部総括としての責任の重大さに心が引き締まる毎日です。そしてこの緊張感が新鮮で明日への活力に繋がり喜びの限りです。

看護の対象の多くは、加齢等からの起因で余儀なくおかされた健康、その健康障害による孤独・不安・苦痛時には生きる意欲さえも失い絶望している人々です。この様な方々を看護や介護をさせて戴くには、何が必要であり大切かを考えてみますと、それは視野を広く持ち止まるところを知らない医学、医療技術、看護技術に遅れないことは当然でありますが、それにも増して周囲に対して常に感謝の気持ちを忘れず奉仕する心、よい病院にする心、向上する心、この三つの心が要であると考えます。どんな時にも看護・介護をさせ

て戴いているという謙虚な姿勢を中心におき、職員間ではお互いを認め、助け合い信頼する心が一束になってこそ、より効果的な温かい援助の場面が構築され、よい病院づくりの定礎になると信じております。更に各々が自己を磨き時流に即して輝く努力の必要性は記するまでもありません。

地域社会のニーズに即応し、親しまれ、愛され、信頼される病院づくりは至難の業であり、達成するには絶え間ぬ努力が必須であります。その中で最も大切なことは、病院に関する職員が一丸となり『よい病院を育てる心』を結集しなければならぬと、痛感している今日この頃です。

デイケア夢いろ

看護婦 松永光枝

平成10年8月3日「デイケア夢いろ」がオープンしはや3ヶ月が経過しました。手さぐり状態で始まりましたが日を追うごとに温かく楽しいムードとなり通う方々の顔が生き生きとしてきました。今後よりよいデイケアにしていく為に一層努力していきたいと思っております。

デイケア 始まりました

1日のスケジュール

8:30~9:00

送迎

9:00~9:30

うがい・お茶・体温血圧測定

9:30~10:30

リハビリ体操(入浴)

10:30~11:30

作業療法

(11:00~個別リハビリ)

11:30~13:15

昼食・休憩

13:15~14:30

頭の体操 レクリエーション

14:30~15:00

お茶

15:00~15:30

送迎



『デイケアに通い始めて』

通所者 大石花子様

九月一日に、誠和病院のデイケアに入れていただきました。

院長先生はじめ、諸先生、看護婦様、職員の皆様方のやさしい心づかいで：リハビリ体操、ちぎり絵、ぬり絵他色々、それぞれの体調に合わせてやらせて頂いております。私は入って間もないのに敬老会、誕生会、玉露の里にバスで連れて行っていただき、思いもよらない楽しさを味わせていただきました。

一人でぼんやり淋しい思いで家にいるより皆で楽しく語らい、笑いのたえない楽しい一日をすごせる事がほんとうにうれしくてなりません。

娘が買物をすませ、会社から帰って来て「お母さん、今日はどうでしたか」とたずねてくれます。「とつても楽しかったよ」と言うと「よかったね」と言ってくれます。ほんとうに良かったと有難く：感謝しております。



9月11日の敬労会で金太郎を合唱しました

御家族より

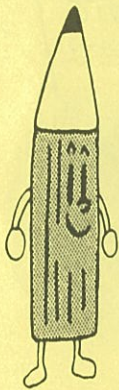
おばあちゃんの顔が、いい顔になってきました。

「魚の名前を出し合ったら66もあったヨ」「昼食のおかゆはとつてもたくさんあって食べきれなかったけど、おいしくできてたヨ」とか、おかずも覚えていて、いろいろ話をしてくれました。

通所者 八木せつ様

「…きょうじゃないよ!」「おとうさん、きょうはないよ。あしただよ!」と言われても、玄関で待っている日があります。よっぽど楽しいんでしょうねえ…。これからもどうぞよろしく。

通所者 杉本 勲様



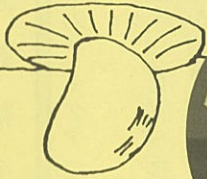
11月22日 葉梨地区ふれあいまつりに参加・出品しました



10月21日 遠足、玉露の里にて

介護職員
田島 さよ

介護職として六年の月日が流れました。これからは真心をこめて介護させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。



相談係
中村 真

早いもので私が誠和藤枝病院に赴任してから半年が経ちました。七月より誠和藤枝病院が六二床の増床と再出発を切ったように私も心機一転がんばります。



介護職員
田山 寿江

介護職として月日だけを重ねても、まだまだ戸惑いの連続で、何をして差し上げたら良いのか常に考えています。外気を一杯吸って藤棚の下で笑顔でくつろぐ患者さんの姿を見るのが楽しみです。



看護婦 **佐藤 ふき子**

看護婦を職業にした私は、いつの日か老人病院で働きたいと思っていました。誠和に勤めて二年半になります。今は好きな仕事にめぐり逢えてよかったと思っております。



看護婦 **繁田 和子**

職場仲間の紹介で、平成六年から勤めています。高齢化社会に向って行く中で、地域の人々と接しながら、どれだけ役立つ事が出来るのかわかりませんが頑張っていきたいと思っております。よろしくをお願いします。



編集後記

今年も残すところあと1ヵ月となりました。来年は、できるだけ数多くの院内報をおとどけたいと思っております。ご意見・ご感想などとしお寄せ下さい。 Y・K

職員募集

医療法人社団八洲会 誠和藤枝病院

- ◎看護婦
- ◎理学療法士
- ◎作業療法士

詳しいお問い合わせは
TEL (054)638-3111
担当 事務長 八木

